

柏尾川桜並木保全・再生計画検討委員会

ニュースレター No. 3

柏尾川桜並木保全・再生検討委員会【散策会】を開催しました

戸塚区の魅力のひとつである柏尾川桜並木。毎年、春になると満開のサクラが戸塚を彩り、たくさんの方がお花見を楽しんでいます。

そんな「柏尾川桜並木」のサクラが、今、多く伐採されていることをご存知でしょうか。高齢化や病害等により、安全管理上、伐採を余儀なくされています。

そこで、区の魅力である「柏尾川桜並木」のサクラの減少を食い止め、現在の景観を維持していくため、地域の皆さまと協働で桜並木の保全・再生の方法を検討することを目的として「柏尾川桜並木保全・再生検討委員会」を開催しています。メンバーは柏尾川桜並木の近隣の企業・事業者、自治会町内会、商店会、学校、ボランティア団体の方々です。



【散策会】

テーマ:桜並木の現地確認

日にち:令和6年10月19日(土)

場所:戸塚区役所 8階会議室

柏尾川プロムナード

参加人数:12名

【検討委員会 年間スケジュール】

第1回 5/17 桜並木の現状

第2回 8/8 桜並木の課題と対応について

✿ 散策会 10/19 桜並木の現地確認

第3回 12/11 桜並木の将来像

第4回 1/31 柏尾川桜並木保全・再生計画について

散策のルートと観察のポイント

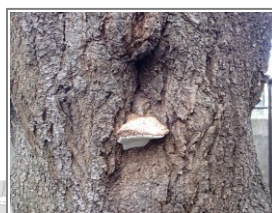
各ポイントにおける解説内容は裏面を参照



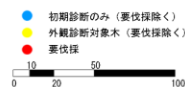
桜並木の現状や課題について知るために、現地散策会を開催しました。樹木医の解説を聞きながら柏尾川プロムナードの桜まつりエリアを歩き、サクラの植栽間隔やキノコの発生状況、サクラを伐採した場所などの確認を行いました。(順路はポイント①→②→③→④)

確認のポイント②

- ・樹勢回復の方法
(土壌改良・剪定など)
- ・根元の保護の方法



コフキタケが見られた



①

区役所

- ### 確認のポイント①
- ・10mの植栽間隔
 - ・樹勢が良いサクラの特徴
 - ・剪定痕の様子



③

確認のポイント③

- ・サクラが連続して伐採され、空間があいている状況



④

確認のポイント④

- ・植栽間隔が狭い状況
- ・植栽帯の奥行きが狭い状況

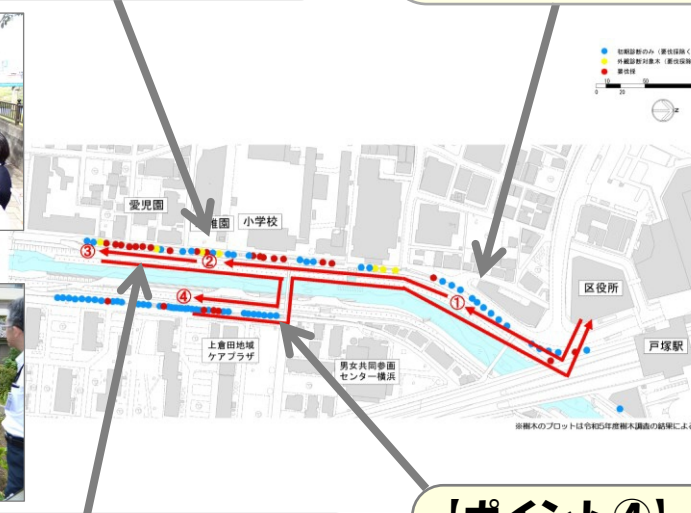
※樹木のフロットは令和5年度樹木調査の結果による

各ポイントでの解説

【ポイント②】 樹勢回復方法

元気がない桜がある。

- ・弱っている桜は小枝があまり出ていない。
- ・枝先に芽がついていない、または小枝がついていない枝は枯れている。
- ・樹勢の衰えた桜を回復させるためには・・・
たて穴を掘り、土壌改良材や肥料を混ぜて埋め戻す方法は、簡単で効果が高い。特に土が固いところでは水はけも良くなり有効である。
- ・表層の根を守るため、人が踏み込まないように**柵をしたり、草花を植える**のも効果的。



↑10m間隔の確認をする様子



【ポイント①】 適切な植栽間隔の確認

平成25年度に桜並木が改修され、ソメイヨシノが約10m間隔で植えられている。

- ・この桜は概ね元気な状態である。
- ・**枯れ枝がなく、高い位置の枝がよく伸びており、樹皮につやがあるのが元気な証拠**である。
- ・約10mの間隔では、**隣あった桜の枝と枝が接するくらいになっており、良い生育環境**である。
- ・剪定した切り口の確認。うまく塞がらないと菌が入りやすいため、桜を長持ちさせるためには、なるべく**大きな切り口を作らない**ようにする。

【ポイント③】 連続して伐採された箇所

倒木の危険があるとして、連続して桜が伐採された箇所である。今は切り株が残されている。

- ・伐採された本数を新植するのではなく、**良好な生育環境の確保のために、10m間隔で新植**する。
- ・残っている桜で、**胴吹き**の枝(幹から出ている新しい枝)が木の高い位置から出ているものは、これらが成長し、次の骨格の枝となっている。

【ポイント④】

植栽間隔が狭い、植栽帯が狭い

桜の植栽間隔が狭く、枯れ枝も多く見られる。

- ・隣の桜との間隔が狭いと、枝と枝が競り合い、**日当たりが悪くなり、枝が枯れてしまう**。
- ・植栽帯の奥行きが比較的狭いうえに、**車道側が擁壁で切り立っているため、桜は水を吸いづらく、過酷な環境**と言える。
- ・植栽帯の幅等は、**護岸の安全管理上の配慮が必要**であり、難しい。

実際の桜並木を見ながら説明を聞くことで、植栽間隔による生育の違いや、元気な状態と弱っている状態の桜の特徴を知ることができました。桜を健全な状態で維持していくことが大切です。

【アンケートよりご意見】 (一部抜粋)

- ・とても学びの多い散策会でした。実際の桜の木の様子を拝見し、樹木医の方からくわしく説明をいただけて、より理解を深めることができました。
- ・東側(ケアプラザ側)の桜の状態が悪いのは、植栽の位置、間隔など問題があるのがわかりました。最適な方法で保全すべきと感じました。
- ・課題を肌で感じることができ、良い機会だった。

柏尾川桜並木保全・再生計画に関する情報は、市ホームページ等で公開する予定です。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/totsuka/shokai/miryoku/kashiosaku/kashio-new.html>

上記URLのほか、二次元コードからも閲覧できます→



発行: 戸塚区市政推進課

住所: 横浜市戸塚区戸塚町16-17

電話番号: 045-866-8327

FAX: 045-862-3054

メール: to-kusei@city.yokohama.jp

